

# 北部健康地区

(愛知県尾張旭市)

- 計画期間 平成17年度～平成21年度
- 面積 778ha
- 交付対象事業費 2,537百万円
- 市人口 80,041人 (地区内人口 37,041人)

**ポイント** 「目指します健康都市」  
(「WHO世界健康都市連合」設立メンバー)

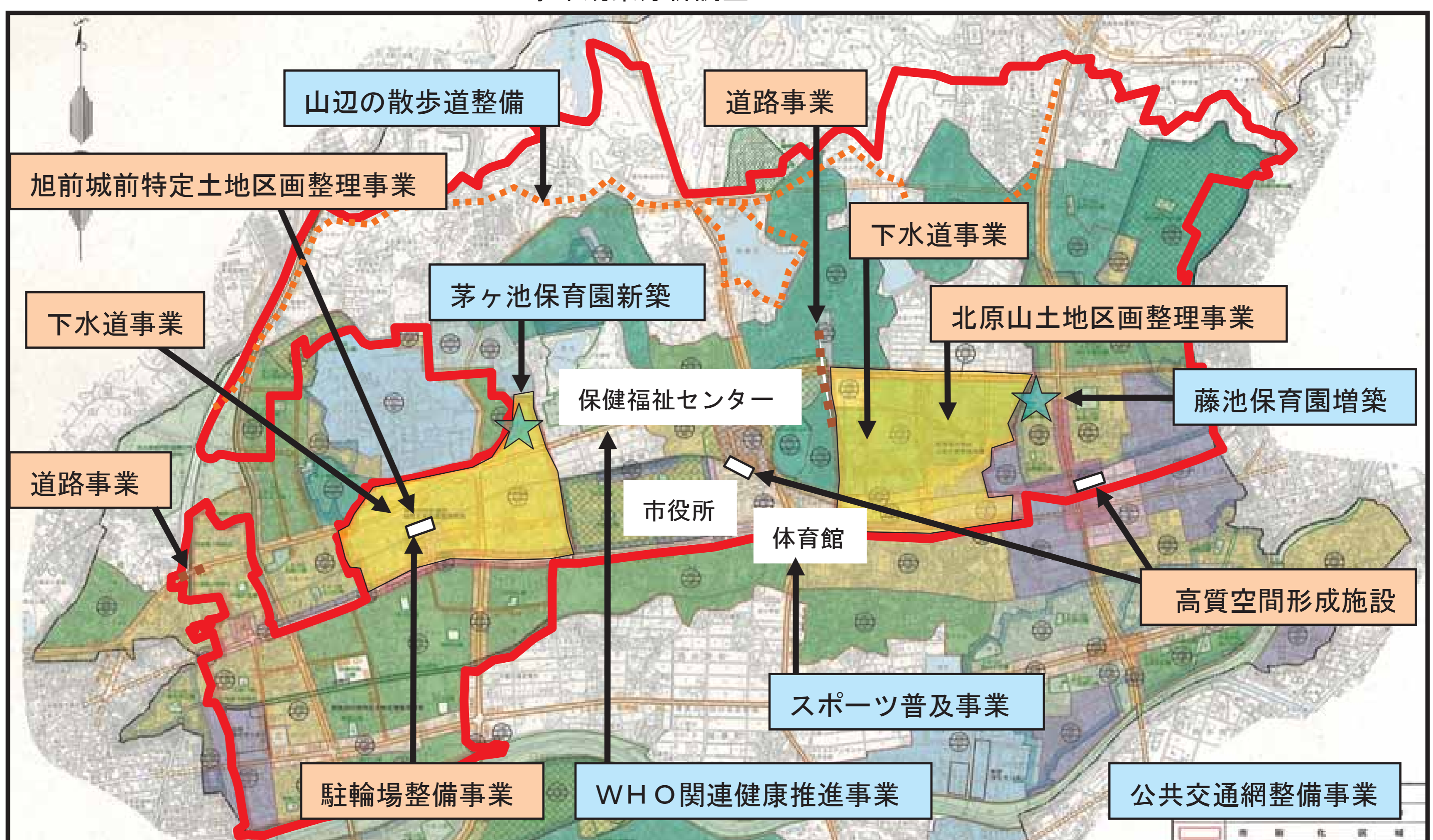
**地区概要** 本市は平成16年に「WHO世界健康都市連合」の設立メンバーとして加盟し、「健康づくり」を重点施策としております。本地区は、その施策を反映させた地区です。

**目標** 「健康都市」として市民の健康をまちづくりの中心に据えた都市整備を目指します。

**指標** 「体の健康」だけでなく、「心の健康」「まちの健康」に関連した目標を設定することにより、個人だけでなく社会も含めた「人の健康」と「まちの健康」の融合を目指します。

項目	現況値	(年)	→	見込み値	(年)
健康だと思う市民割合	83.4%	H14	→	90%	H21
健康づくり教室・元気まる測定参加者数	3,707人	H14	→	5,500人	H21
秩序ある街区となっている市街地面積割合	40%	H14	→	53%	H21
保育園満足度	85.3%	H14	→	90%	H21
散策路の整備率	4%	H14	→	100%	H21

**事業内容** 基幹事業 (1,971百万円) → 道路(延長142m)、下水道(2地区)、土地区画整理(2地区)、自転車駐輪場(1,417㎡)、高質空間形成施設(エレベーター、スロープ設置)  
提案事業 (566百万円) → WHO関連健康推進事業(元気まる測定等)、散歩道整備(9.5km)、スポーツ普及事業(ぴんぴん健康道場等)、保育園増設(1箇所)、保育園新築(1箇所)、公共交通網整備事業(4ルート)、バス購入事業(4台)、事業効果分析調査



## 地区の現況と課題

健康を維持することは、個々の責任にまかされてきた感があるが、実際には個人の努力ではどうにもならないことが多く、それが複雑に絡み合っています。そこで一人ひとりの健康水準を上げていくため社会全体で市民の健康を支えるまちづくりが求められています。

## 提案事業の特徴

### WHO関連健康推進事業

「健康都市」を実現するために、市民の健康づくりを推進する市民総元気まる事業（生活習慣病の予防及び生活の質の向上）、健康増進普及事業（市民ボランティアを地域住民の健康づくりリーダーに育成し、市民の健康づくりを働きかける）、パンフレット（日本語、英語版）作成による啓発事業、公共施設へのAED（自動体外式除細動器）の設置を行う。

### 山辺の散歩道整備事業

安心して歩くことができる道のネットワークを広げるために公園や緑地、自然豊かなため池、緑あふれる寺社林等をつなぎ、「まるごとウォーキングのまちづくり」を目指す。

### 公共交通網整備事業

「外に出かけたくなるまち」というコンセプトに基づき、市域内における交通空白地を解消し、かつ、市民の通院や買い物の利便性、鉄道駅への結節機能確保を図る社会実験を実施する。

## 計画策定プロセス

### 行政評価システム（まちづくりアンケート）

市民の暮らしぶりやまちづくりへの問題意識を明らかにするため、2年に1度、市民に対し「まちづくりアンケート」を実施している。集計結果は「行政評価」の考え方をもとに事務や事業の進行管理に活用し、一部を「北部健康地区」の指標として活用している。

### 尾張旭市交通問題懇話会

有識者、自治会代表、各種団体等代表や市民公募からなる懇話会を立ち上げ、公共交通網の整備について行政と協働し、「外に出かけたくなるまちづくり」を目指し検討を重ねている。

## 谷口市長のコメント

尾張旭市は平成16年6月に「WHO（世界保健機関）世界健康都市連合」の設立メンバーとして加盟し、「健康」を本市の「ブランド」として確立しようとしております。その「ブランド」を確立するために都市再生整備計画では、市民がいつまでも元気でいられるような「体」と「心」、それを取り巻く「社会」的環境を総合的に整備してまいりました。本計画により芽生え始めた市民の健康への意識をさらに広げ、市民と行政が協働して「健康の花が咲き誇る 尾張旭」を実現させていきたいと思っております。

元気まる測定（WHO関連健康推進事業）



山辺の散歩道整備



公共交通網整備事業



尾張旭市交通問題懇話会

